

2023年8月25日

「緩和薬物療法認定薬剤師」

「緩和医療専門薬剤師」

認定申請関連資料

一般社団法人 日本緩和医療薬学会
認定制度委員会

「緩和薬物療法認定薬剤師」認定申請スケジュール

○新規受験について○

新規受験の申請は、毎年下記のスケジュールで実施する予定です。

- 6月 緩和薬物療法認定薬剤師 認定試験要項公表
- 10月 申請書類受付開始（期間：10月1日～31日）
- 12月 書類審査結果通知
- 翌年
- 1月 緩和薬物療法認定薬剤師認定試験
- 3月 緩和薬物療法認定薬剤師認定合格者発表（本学会 HP 上）
- 3月 緩和薬物療法認定薬剤師認定者 認定証発行

再受験についても上記のスケジュールに準じます。

2024年度より、申請書類受付は10月から9月に変更いたします。

○更新について○

認定更新の申請は、毎年下記のスケジュールで実施する予定です。

- 3月（認定期間終了の約1年前） 更新申請対象者へ更新案内通知
- 11月 更新申請書類受付開始（期間：11月1日～30日）
- 翌年
- 3月 更新審査結果通知
- 3月 更新認定者へ認定証発行

緩和薬物療法認定薬剤師・緩和医療専門薬剤師
認定申請資格に係る認定単位規定

一般社団法人日本緩和医療薬学会 認定制度委員会

各種認定薬剤師の認定申請には、一般社団法人日本緩和医療薬学会（以下当会）が認定する緩和医療領域の講習会および緩和医療や薬学関連の他学会・職能団体が主催する専門領域の講習会などを所定の単位以上履修が必要である。

当会が認定する緩和医療領域講習会とは、学会事務局へ期日（開催3週間前までに申請し、単位認定され、当会 HP（認定講習会）に掲載されたものである。

1. 学会等の選定基準 : 全国規模の緩和医療や薬学関連の学術集会 [日本病院薬剤師会各ブロック学術大会は全国レベルとみなす]、日本薬学会、日本薬理学会、日本薬剤師会の地方会、および教育セミナー等とする。

2. 単位数の設定基準

(LMSにて単位自動発行へ変更のため目安)

【講習会・研究会等】	
1 時間以上 2 時間未満	1 単位
2 時間以上 6 時間未満	2 単位
6 時間以上	4 単位
【他学会や団体の年会・学術集会】	
半日 (2 時間以上 6 時間未満)	2 単位
1 日 (6 時間以上)	4 単位
【当会年会】※第 4 回年会以降	
半日 (2 時間以上 6 時間未満)	4 単位
1 日 (6 時間以上)	8 単位
【医療教育研究所 e ラーニング】(2014 年度開始)	
緩和医療薬学シリーズ 1 講座	1 単位
【当会教育セミナー】	
1 講座	2 単位
【当会の主催する講習会等】	
6 ページに記載の通り	

3. 取得開始

2007（平成 19）年 10 月 20 日（第 1 回年会を含み、以後認められた既発行の単位も有効とする）

4. 認定必要単位数

: 100 単位以上（最長 5 年以内、毎年 20 単位以上）を修得して申請する。

5. 参加履修証明 : 2021年3月31日まで:「当会研修シール」、「参加証(ネームカード)の写し」等
2021年4月1日以降:LMSにて単位発行とし、別紙(資料)に定める。
6. 学会・講習会等 : 以下の学会・講習会等を認定対象とする。
(第1回当会年会以降開催されたものも含む)
7. 更新 : 認定薬剤師は、以後5年ごとに更新が必要である。
(学会HP更新要項にて要件を確認すること)

学会・講習会等	主催
① 当会年会および教育セミナー、在宅緩和ケア教育セミナー	日本緩和医療薬学会
② 当会の主催する講習会等 ・ pSMILE (旧 PEOPLE) ・ 臨床研究セミナー ・ 地域緩和ケアネットワーク研修 (モデル事業含む) ・ 在宅緩和ケア入門塾	日本緩和医療薬学会
③ 疼痛緩和のための医療用麻薬適正使用推進講習会 (がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会) * (必須) *本講習会は日本薬剤師研修センターのビデオ集合研修あるいはVOD研修 (http://www.jpcc.or.jp/) の履修証明をもって代用できる。 配信終了のため削除 2023/8/24	厚生労働省、 麻薬・覚せい剤乱用防止センター、日本薬剤師研修センター (後援) 厚生労働省・日本医師会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会・日本看護協会・日本病院会・全日本病院協会
④ -1 インターネット研修	医療教育研究所 e-ラーニング「緩和医療薬学シリーズ」(2014年度開始)
④ -2 ビデオ集合研修 [緩和医療関連]	日本薬剤師研修センター
⑤ 当会が認定する緩和医療領域講習会等 (*認定されたものはHPに掲載)	地域の講習会・研修会・研究会等
⑥ 他学会・職能団体の主催する学術集会 ・ 日本緩和医療学会学術大会 (支部学術大会も含む) ・ 日本ペインクリニック学会 ・ 日本癌学会学術総会 ・ 日本癌治療学会総会学術集会 ・ 日本臨床腫瘍学会学術集会 ・ 日本臨床腫瘍薬学会学術大会 ・ 日本医療薬学会年会 ・ 日本薬剤師会学術大会 (地方会も含む)	日本緩和医療学会 日本ペインクリニック学会 日本癌学会 日本癌治療学会 日本臨床腫瘍学会 日本臨床腫瘍薬学会 日本医療薬学会 日本薬剤師会

<ul style="list-style-type: none"> ・日本病院薬剤師会各ブロック学術大会 ・日本薬学会年会（地方会も含む） ・医療薬学フォーラム ・日本薬理学会年会（地方会も含む） ・日本サイコオンコロジー学会総会 ・日本死の臨床研究会年次大会 ・日本老年薬学会学術大会 ・日本がんサポーターティブケア学会学術集会 	<ul style="list-style-type: none"> 日本病院薬剤師会 日本薬学会 日本薬学会医療薬科学部会 日本薬理学会 日本サイコオンコロジー学会 日本死の臨床研究会 日本老年薬学会 日本がんサポーターティブケア学会
<p>⑦ 他学会・職能団体の主催するセミナー・研修会等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院診療所薬剤師研修会 ・日本病院薬剤師会実務研修会 ・日本緩和医療学会教育セミナー ・日本臨床腫瘍学会教育セミナー ・日本臨床腫瘍薬学会各種セミナー、研修会（2021年4月開催分以降） 	<ul style="list-style-type: none"> 日本薬剤師会/日本病院薬剤師会 日本病院薬剤師会 日本緩和医療学会 日本臨床腫瘍学会 日本臨床腫瘍薬学会
<p>⑧ 各大学主催の生涯学習講座〔緩和医療関連〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各大学薬学部

- 附則 1 この規程は 2008（平成 20）年 10 月 19 日から施行する。
- 附則 2 ⑥にある学術集会および国際学会で緩和ケア領域に関する発表をした場合、学会発表の実績として認められる。
- 附則 3 単位は申請者が学会員になってからのものが認められる。ただし、第一回年会を含み、それ以降を対象とする。
- 附則 4 当会年会・教育セミナーについては、2010（平成 22）年 4 月 1 日以降のものに限り、それまで認められていた単位のダブルポイント制とする（例 学会参加：⑥の学会や団体の学術集会への参加は半日 2 単位、1 日 4 単位であるが、当会は半日で 4 単位、一日で 8 単位である）。これは学会員に広く当会の年会や教育プログラムへ参加してもらうために講じた。

認定対象となる学会・セミナー・講習会等と単位数

日本緩和医療薬学会 認定制度委員会

講習会等	概要等	単位数	参加履修証明 2021年3月31 日まで	参加履修証明 2021年4月1日 以降
① 当会年会および教育セミナー、在宅緩和ケア教育セミナー	年会 教育セミナー、在宅緩和ケア教育セミナー	【年会】 1日[8単位] 【教育セミナー、在宅緩和ケア教育セミナー】 1講座[2単位]	【年会、教育セミナー】 参加証（年会は参加印が必要）	LMSにて単位発行
② 当会の主催する講習会等	pSMILE（旧 PEOPLE）プログラム関連研修会等 臨床研究セミナー 地域緩和ケアネットワーク研修（モデル事業含む） 在宅緩和ケア入門塾	1時間以上2時間未満[2単位] 2時間以上6時間未満[4単位] 6時間以上[8単位] *pSMILE（WEB開催）について 2022年度以降[5単位] 1開催[4単位] 40時間程度[10単位] 1講義[1単位]	【PEOPLE プログラム関連研修会】 修了証 — —	LMSにて単位発行 LMSにて単位発行 LMSにて単位発行 LMSにて単位発行
③ 疼痛緩和のための医療用麻薬適正使用推進講習会（がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会）*（必須） *本講習会は日本薬剤師研修センターのビデオ集合研修あるいはVOD研修（ http://www.jpcc.or.jp/ ）の履修証明をもって代用できる。配信終了のため削除 2023/8/24	厚生労働省、（公財）麻薬・覚せい剤乱用防止センター主催	[5単位] 年度内は同一内容のため重複申請不可。ただし年度が変わると内容が変わるため申請可。 *日本薬剤師研修センターのビデオ集合研修あるいはVOD研修と講習会は同内容のためどちらかの申請のみ可。	単位認定シール	LMSにて単位発行

<p>④ -1 インターネット研修 ④ -2 ビデオ, CSTV 集合研修 [緩和医療関連]</p>	<p>テストまたはアンケート等あり</p> <p>(実施機関) 医療教育研究所 e-ラーニング「緩和医療薬学シリーズ」(2014 年度開始) 日本薬剤師研修センター</p>	<p>医療教育研究所 e-ラーニング「緩和医療薬学シリーズ」は、1 講座 (30 分) [1 単位]</p> <p>日本薬剤師研修センター等他の機関のもので、当会認定制度委員会に認められたものは、日本薬剤師研修センターの規定に準拠：90 分[1 単位]</p>	<p>単位証明書</p> <p>臨床ポートフォリオ提出により取得した単位認定シール</p>	<p>臨床ポートフォリオ提出により LMS にて単位発行</p> <p>LMS にて自己管理(単位証明書をアップロードすること)</p>
<p>⑤ 当会が認定する緩和医療領域講習会等</p>	<p>講習会の主催者は、少なくとも開催の 3 週間前までに当会事務局に申請し、認定制度委員会の承認を得る (注 1)</p>	<p>申請内容を検討後、承認【講習会】</p> <p>1 時間以上 2 時間未満[1 単位] 2 時間以上 6 時間未満[2 単位] 6 時間以上[4 単位]</p>	<p>単位認定シール</p>	<p>LMS にて単位発行</p>
<p>⑥他学会・職能団体の主催する学術集会 (注 1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本緩和医療学会学術大会 (支部学術大会も含む) ・ 日本ペインクリニック学会 ・ 日本癌学会学術総会 ・ 日本癌治療学会総会学術集会 ・ 日本臨床腫瘍学会学術集会 ・ 日本臨床腫瘍薬学会学術大会 ・ 日本医療薬学会年会 ・ 日本薬剤師会学術大会 (地方会も含む) ・ 日本病院薬剤師会各ブロック学術大会 		<p>2 時間以上 6 時間未満 [2 単位] 1 日 (6 時間以上) [4 単位] 2 日 [8 単位] 3 日 [12 単位] (開会式から閉会式までの各日のプログラム参加時間)</p>	<p>各学術集会の参加証</p>	<p>下記いずれか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ LMS にて単位発行 ・ LMS にて自己管理(各学術集会の参加証をアップロードすること)

<ul style="list-style-type: none"> ・日本薬学会年会（地方会も含む） ・医療薬学フォーラム ・日本薬理学会年会（地方会も含む） ・日本サイコオンコロジー学会 ・日本死の臨床研究会年次大会 ・日本老年薬学会学術大会 ・日本がんサポーターティブケア学会学術集会 				
<p>⑦他学会・職能団体の主催するセミナー・研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院診療所薬剤師研修会 ・日本病院薬剤師会実務研修会 ・日本緩和医療学会教育セミナー ・日本臨床腫瘍学会教育セミナー ・日本臨床腫瘍薬学会各種セミナー、研修会（2021年4月開催分以降） 		<p>1時間以上2時間未満[1単位] 2時間以上6時間未満[2単位] 6時間以上[4単位]</p>	<p>各セミナー・研修会の参加証あるいは修了証（病院診療所薬剤師研修会は参加費領収書）</p>	<p>下記いずれか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LMSにて単位発行 ・LMSにて自己管理（各セミナー・研修会の参加証あるいは修了証（病院診療所薬剤師研修会は参加費領収書）をアップロードすること）
<p>⑧各大学主催の生涯学習講座 [緩和医療関連]</p>	<p>講座を開催する各大学薬学部は、開催の3週間前までに日本緩和医療薬学会事務局に申請し、承認を得る（注2） 例）星薬科大学 （卒後教育講座） 4.5時間/回 （4回/年）講義</p>	<p>1時間以上2時間未満[1単位] 2時間以上6時間未満[2単位] 6時間以上[4単位]</p> <p>2単位/回 4回参加で [8単位]</p>	<p>単位認定シール</p>	<p>LMSにて単位発行</p>

注1：⑥に記載の学術集会および国際学会で緩和ケア領域に関する発表をした場合、学会発表の実績として認められる。（[当会 HP の Q&A 参照](#)）

注2：「緩和薬物療法認定薬剤師資格単位申請書」は当会 HP より入手可能。

注3：WEB開催の場合で、参加履修証明が「参加証あるいは修了証」となっているものに関して、参加証に加えて視聴時間の証明書が必要です。修了証については、参加ログを確認した上で発行されたものであれば修了証のみで可とします。